

VOL.3

和木学園機関誌



町ぐるみ
 和木学園

— WAKIGAKUEN —

和木学園とは、コンパクトでまとまりのある町を1つの学園と見なし、あらゆる年代のライフステージの中で「生涯学習」を推進していく取組です。

「みんなが生徒 みんなが先生」という考え方のもと、
ともに学び合い、町の活性化を目指しています。

「町民にとっての豊かな学び、豊かな体験」に関することは、
全て和木学園の活動です。



和木学農園 ～野菜をそだててみよう～

★今年もMOA自然農法文化事業団の土井勝栄さん、NPO法人ゆうきびと橋川等さんを講師に迎え、農業講座(家庭菜園)を開催しました。年8回にわたり、小学校前の感時園で土づくりから収穫までを体験しました。



土づくりからスタート



みんなで雑草を抜き土を整えることで、立派な畑に生まれ変わりました。

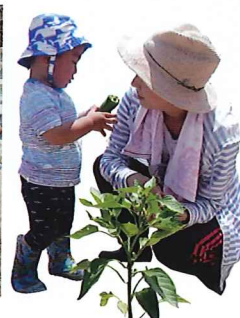
座学で自然農法の基本を学びます



5月には夏野菜の苗を植えました



1か月でこんなに!



大収穫!



収穫したら新しいものを植えます。



「ぼかし肥料づくり」や「落花生」にもチャレンジ!

11月には収穫祭



みんなでBBQを楽しみました。



「牛乳パックを使ったホットドッグ作り」も試してみました。

苗を植えて、春を待ちます。



参加者の感想



- ・予想外に育つことも多く、1年を通じて楽しめました。
- ・上手いかなかったこともありましたが、試行錯誤しながら勉強できたことが良かったです。
- ・土作りから収穫まで、体験を通じて学ぶことができました。
- ・自分たちで育てて収穫した作物をおいしくいただく喜びを味わうことができました。





歴史教室 ～和木町のいまと昔～

平成31年4月20日

★和木町文化財審議委員の正中克磨さんを講師に迎え、和木町の古地図と現在の航空写真を見て学んだ後、石碑・寺社などの史跡を巡りました。また、蜂ヶ峯総合公園の歴史資料館では、展示されている銃や槍などを見ることができました。新しく和木町に赴任された先生方に町を知っていただく意味もあります。



正中先生



古地図と現在の地図を見ながら和木町の国境紛争に至るまでをわかりやすく説明されました。

座学後は和木のまちへ

一里塚の前（セブンイレブン前）



一里塚とは、今でいうキロポスト。小瀬から約4キロの地点です。

田中明神



田中明神の灯籠には和木町とつながりのある国名が彫られています。

長州之役戦跡の碑



橋を渡った大竹側にあります。山口県側と広島県側で戦いの呼び方が異なります。

封境の地石碑



武士のみならず、全ての人が力を合わせて戦いました。



「大瀧」と書いて「おおたけ」と読みます。安禅寺には町指定の有形文化財である扁額が保管されています。

参加者の感想



- ・校区内のことで知らないことが多いので、良い経験となりました。歴史を知り、児童の指導に役立つ部分が多いと感じました。
- ・和木町を歩きながらまわることで、目的のものだけでなく、途中で気づくものもたくさんあって良かったです。和木に住みながらも知らないところがたくさんあったので、知識が増えてよかった。
- ・実際に足で歩くことで、位置関係等実感しながら話を聞くことができた。説明がわかりやすく、内容がよくわかった。



明治150年記念講演「大村益次郎～未完の軍制改革～」

令和元年6月15日

★町民が和木町の歴史に興味を持ち、幕末期から明治初期の出来事や文化を知ることにより、知識の向上、新たな発見の手がかりとなることを目指した広報誌の歴史コラム。今回は執筆者の一人である和木町出身の竹本知行准教授に、コラムでは書き切れなかった詳細について語っていただきました。



竹中先生

第1部

第1部は大村益次郎が取り組んだ軍制改革の方針や流れ、大久保利通らとの対立について、詳細な解説がありました。



第2部

第2部は正中克麿氏とのトークセッション。町広報誌のコラムの内容をさらに掘り下げることで、大村益次郎の生涯と当時の時代背景・社会情勢などについて知ることができました。



参加者の感想

- ・大村益次郎の軍制改革を細かく講義されたところに興味、驚きがありました。なかなかこの部分は出会えないものでしたから。トークセッションは面白かったです。
- ・企画運営共によく考えられた良い研修・講演会であった。和木学園というネーミングもなかなか魅力的で、若い力も感じられた。トークセッションもとても面白く、よくわかってよかった！
- ・わかりやすい言葉を使っていただき、歴史の中での大村益次郎の人物像が見えてきた気がします。



「災害時、あなたは生き残れるか!？」

令和元年7月6日

★今、大地震がきたら?大型台風がやってくるとしたら?山が崩れ、川が決壊したら?

あなたは大切な人を守るために何をすべきか?

一昨年10月に開催された講座「和木町(村)の大災害を知ろう」の続編として、前回に引き続き、和木在住の防災士・松並光則さんを講師に、いつどこで発生してもおかしくない大災害に備えて、今すぐできること・知っておくべきことについてお話いただきました。



松並先生



先生はとにかく研究熱心。
豊富な資料をもとにわかりやすく
説明してくださりました



PTA連合会も研修の一環として参加

参加者の感想

- ・パワーポイントを使って映像もあったり画像もあったりして、とても分かりやすかったです。お話も具体的で理解しやすかったです。
- ・お話を聞いて、先延ばしにしていた非常持ち出し品をしっかりと用意しようと思いました。
- ・分かっているつもりだったが、情報が沢山の、地震の周期や身を守る姿勢などためになりました。



からだの元気講演

令和元年8月4日

「人生が変わる 足ゆび健康法！」

★「あいうべ体操」、「ゆびのば体操」でTV等でもおなじみの「みらいクリニック」院長・今井一彰先生に足指の大切さについてお話ししていただきました。1歳～90歳代まで幅広い年齢層から333名の参加があり、からだへの関心の高さが感じられました。



今井先生

「足指が伸びると、まっすぐに立てるので体中が元気になります。ご自分の足の形をチェックしましょう。」



笑いとお得の連続で、楽しみながら足指の大切さに気付くことができましたよ！



グッズのブースや講演後も大人気！



町内では、「ゆびのば体操」修了者の「ゆびのばさん」も活躍されています。「ゆびのばさん」と一緒に1日3分の足指ストレッチ「ゆびのば体操」で、健康長寿の町を目指しましょう！



中村文昭 講演会「自分を知る」

令和元年8月5日

★「和木町民に元気になってもらおう！」ということで前日の「からだの元気」に引き続き、この日は「こころの元気」にスポットをあてました。講師は日本一講演活動をされていると言っても過言ではない(年間300本以上!)中村文昭先生。「重岡教育長のかねてからの願い」ということもあり、お忙しい中、和木に上陸していただき、講演が実現しました!

和木中学校 生徒代表によるお礼の言葉



中村先生



「出会いを大切に」、「仕事は感動を与えるためにある」、「頼まれごととは試されごと」等、生きる勇気が湧いてくるメッセージをご自身の経験のもと、熱く語っていただきました。



コンビ学習

令和元年12月25日

～ふしぎ探検隊 集まれ！未来の科学者たち～

★和木学園では、コンビナートとのコラボレーションで、コンビ学習という取組も行っています。三井化学(株)岩国大竹工場のふしぎ探検隊の皆さんに指導していただきました。場所は和木小学校です。



岩国大竹工場では、身の回りにある
さまざまなモノの原料を作っています。

スライムを作ろう！

作り方：お湯（＋絵の具）＋PVA＋ホウ砂＝スライム



スライム完成

ぶよぶよ
不思議な感触！



かたくりこをつかむ実験！！



楽しく遊べました。
ありがとうございました！



ふしぎ探検隊は、次世代を担う子どもたちに、科学に興味を持ってもらいたい、将来の科学技術を担う人材となってほしいという思いから、多くの科学実験教室を実施されています。



日米交流書初め大会

令和2年1月11日

～ KAKIZOME The First Writing of the year in Waki ～

★日米交流書初め大会は、アメリカ海兵隊岩国基地の子どもたちや保護者と、和木小学校・中学校の児童生徒が、書き初めやけん玉などの昔あそびで交流を深めます。

大竹高校書道部の大書パフォーマンス

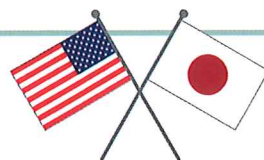


大きな作品が
できました。

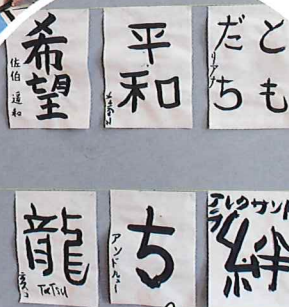
参加者による書道チャレンジ！



上手にかけれるかな？

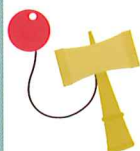


副司令官も挑戦！



作品は会場に展示されました。
名前がカタカナで上手に書かれています。

日本伝統のあそび



書道の後は、「日本の伝統的なあそび」で交流です

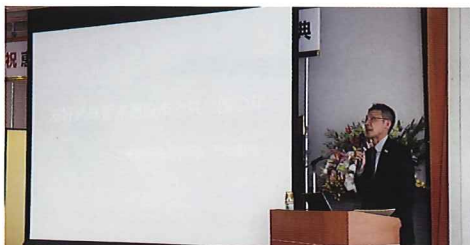




恵庭市・和木町姉妹都市締結40周年記念式典 「友好姉妹都市恵庭市と共に40年」

令和元年10月19日

★令和元年度は北海道恵庭市と姉妹都市となってから40周年という節目の年でした。各種セレモニーや記念講演で祝いました。また、お互いの歴史や現在の様子を伝える特別展も行いました。



記念講演はいつもお世話になっている正中先生。明治時代、時代に翻弄されながらも、両市町の繁栄の基礎をつけた先人の労苦と偉業に思いを馳せながら、友好姉妹都市交流の大切さを改めて感じることができました。

特別展「北海道恵庭市とカリンバ遺跡」



恵庭市での特別展「山口県和木町の歴史」



和木学園スキーツアー ～雪山で自然に親しもう～

令和2年2月8日

★皆さんもご存じのとおり、今年は深刻な雪不足。事前に「人工雪のレーンのみ滑走可」という情報を得て、まだ、日が昇らない午前6時30分、12人を乗せたバスが和木町役場を出発し、広島県の芸北国際スキー場に向かったのです。



それでも…



スキー場に到着!! ご覧のとおりです。



中学生はスキーにチャレンジ



小さい子供たちは雪遊びを堪能しましたよ!



参加者の感想



悪条件の中でしたが、次のようなことを言ってくれて良かったです。

・スキー上級者は物足りないかもしれませんが、子供たちは普段これだけ雪に触れて遊ぶことがないので、我が家にとっては良い機会となりました。



あいさつ運動啓発 ～入賞作をご紹介します～

標語の部

《小学生の部》

最優秀 あいさつで 明るい和木の 町づくり 小6 楯田 彩乃さん

優秀 あいさつは 笑顔になれる おまじない 小1 東屋璃々亜さん

《中学生・一般の部》

最優秀 スマイルで かわすあいさつ ふくらむ和 一般 佐々木千秋さん

優秀 あいさつと 添える会釈で 緩む頬 中2 小山 遥士さん

標語の部

《小学生の部》



最優秀

小5 茶屋穂乃香さん



優秀

小4 宮野はぐみさん

《中学生の部》



最優秀

中2 岡本亜斗夢さん



優秀

中3 山田 果奈さん



家庭教育支援チーム

★和木町における家庭教育支援者・子育て支援者が連携を深め、家庭教育力の向上や子育ての充実を推進することを目的に活動しています。

「はっちーず」とは



和木町のキャラクター「はっち」が家族仲良く愛情につつまれていることをイメージしています。“はいっチーズ”と写真を撮るときには、自然と笑顔になれることと、「はっち」を融合させた愛称で「はっちーず」としました。

子育て支援講座

家族参加型イベント

子育て支援相談会

「はっちーず」の主な活動内容

子育て支援講座



小学校の入学説明会において、各家庭の悩みを共有するとともに、生活習慣について話し合いました。

子育て支援相談会(サロン)



学校の参観日において、親として心得ておきたいことや子育ての悩みについての相談会を行っています。

家族参加型イベント



和木町の子育て支援団体が一同に会するイベントをサポートしていきます。



四境太鼓（わき愛あいフェスティバル）

和木町成人式



町子連インリーダーキャンプ



稲刈り体験
（わきあいキッズ・昔あそび）



人権教育推進協議会（人権のつとめ講演会）



郷土料理教室

活動も 園です

なヒト・モノ・コトを通じて
が生まれることです。



すくすくフェスタ
(民生委員によるバルーンアートブース)



あいさつ運動



ICT 合同研修会 (和木小・和木中)



スポーツ少年団とわきあいキッズの連携

皆さんの 和木学



和木学園の特徴は和木の魅力的
学び合い、住民同士のつながり



婦人会 (梨狩りの様子)

TOEIC・英検・漢検・数検

を受験してみませんか

和木学園では、町の子どもたちと、町民の自発的な学習意欲を支援し、学力の向上を目指すこと及び助成対象者の経済的負担の軽減を図るため、「TOEIC」、「英検」、「数検」、「漢検」、の検定料を全額助成する事業を行っています。

令和元年度は

TOEIC・・・10人

英検・・・88人

漢検・・・292人

数検・・・17人

の方が受験されました。



和木学園への
参加のしかた

①和木学園の講座に参加する

講座のご案内は町広報等で随時お知らせしています。

②講座を企画する

「みんなでしてみたい」ことがあれば、事務局までお知らせください。

③講座の先生になる

「先生になってもらいたい」ことがあれば、お声掛けさせてください。

発行年月：2020年3月

発行：和木学園実行委員会

〒740-0061 山口県玖珂郡和木町和木2-1-1

TEL：0827-53-3123 FAX：0827-53-6776